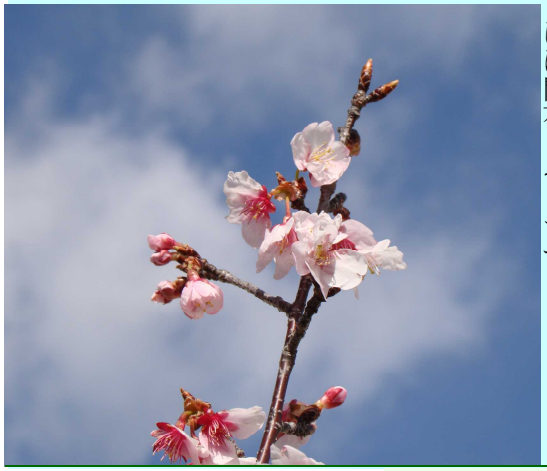
ある町の天気相談所

Vol.39
2021.3. 5

令和３年３月号

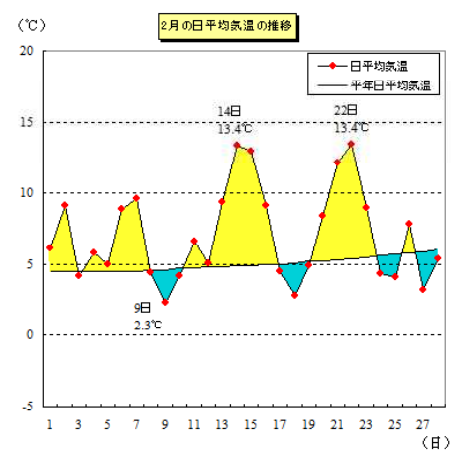


梅やさくら

２月下旬頃から市内では、梅や早咲きの「日立紅寒」などのさくらが見頃になっていました。写真は日立市役所の敷地内の日立紅寒ですが、まだ木が小さいため花も少なめでした。今後が楽しみです。なお、ソメイヨシノも３月下旬頃には開花しそうです。

２月の気候

２月の月平均気温は７℃と平年よりかなり高い気温となりました。北日本を低気圧が進むことが多かったため、変動が大きくなりましたが、暖かい空気が入ることが多くなりました。15日に発達した低気圧が進んだため月合計降水量は84ミリと平年の１６８％。月合計日照時間は２３０・４時間と平年より多くなりました。



１カ月予報（気象庁発表）

３月は、天気は数日の周期で変わり、はじめは平年に比べ晴れの日が少ないですが、後半は平年同様に晴れの日が多い予想です。気温は「平年より高い」降水量は「平年並みか多い」日照時間は「平年並みか少ない」見込みです。

２月のお天気解説

猛烈に発達した低気圧

２月15日、日立市付近を低気圧が進み、大雨や強風となりました。14日の朝には九州の南で１０１０ヘクトパスカルでしたが、15日12時に東海道付近で９８４ヘクトパスカル、15時に茨城県付近で９７６ヘクトパスカル、16日６時に北海道付近で９４６ヘクトパスカルと猛烈に発達しました。

日立市には、発達途中に中心付近が進み、15日15時49分に最低気圧９７４ヘクトパスカルを観測しました（２月として低い方から２位の記録）。

湿った空気が入り、雨雲が発達したため、15時34分までの１時間に43・５ミリ、15時19分までの10分間に14ミリの降水量を観測し２月としては、どちらも最も多い記録を更新しました。なお、この日の降水量は79ミリとなりました。

低気圧が離れていく際には、西寄りの風に変わり、17時29分に、最大風速11・８メートル（西北西の風）、17時32分に、23・３メートル（北北西の風）の最大瞬間風速を観測しました。

天気用語の基礎知識

急速に発達する低気圧

気象庁の目安として、24時間で20ヘクトパスカル以上気圧が低下した温帯低気圧をいう。爆弾低気圧とよばれることもある。秋から春にかけて現れることが多く、冬には、猛吹雪などを起こしたり、波浪により船が座礁する事故など、影響が大きくなることが多くあります。令和３年２月15日の低気圧は、24時間で50ヘクトパスカルも気圧が下がりました。

……神峰の山から……

昨年11月から降水量が少ない状態が続いています。11月が18・５ミリ、12月が７・５ミリ、１月が19・５ミリでした。２月は久しぶりに平年より多くなりました。もともと２月の降水量は少なく、平年の２月の降水量は49・８ミリなのですが、２月15日だけで、２月平年の１・６倍の雨が降ったことになります。これで今年の降水量はほぼ平年並みとなりましたが、天気の変化が極端な印象もあります。天気の変化が穏やかで、晴れの日や雨の日がほどよく現れるようであってほしいのですが、なかなかうまく行かないものです。

晴れの日は気分も良いですが、その後の天候を考えると不安です。